

(別紙)

令和3事業年度  
公益財団法人周南市医療公社  
事業計画に関する書類

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

公益財団法人周南市医療公社

## 令和3事業年度 事業計画

現在、世界中に新型コロナウイルスによる感染症が蔓延する未曾有の状況が継続しています。

令和3年に入り、国内では医療従事者を始めに国民全体に対する予防ワクチン接種が開始されようとしています。依然として今回のパンデミックの終息は見通せません。このような時期に、地域の医療、福祉の向上に貢献することが公立の病院施設等としての使命であり、新南陽市民病院も周南市や県の要請を受け、新型コロナウイルスによる感染症の疑いのある患者のPCR検査を行う地域外来検査センターの設置や発熱患者を受け入れる診療・検査医療機関に指定された他、中等症までの患者を受け入れる入院病棟の運営を行っています。令和3年度におきましても、コロナ禍の終息まで全力を挙げて対応を行ってまいります。

一方、我が国では、超高齢化社会へ突入する2025年問題への対応として、医療・介護・福祉サービスの整備が急務となっています。しかしながら、高齢化の進展状況には大きな地域差があることから、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制（地域包括ケアシステム）を2025年（令和7年）を目途に地域ごとに構築する必要があります。

こうした中、平成28年に「山口県地域医療構想」が策定され、これを踏まえた上で、「周南市立新南陽市民病院公的医療機関等2025プラン」を策定し、周南医療圏における地域医療構想調整会議において病床機能の在り方について検討され承認されました。また、令和元年には厚生労働省が統廃合を含めた再編を検討すべき公立・公的病院として、新南陽市民病院もその一つに挙げられましたが、周南市は、今後も病床数を維持し、周南市西部地区の基幹病院としての役割を果たすことを市議会等で明らかにしているところです。

公益財団法人周南市医療公社（以下「医療公社」という。）は、設立目的として、「周南市及びその周辺の地域住民の健康の保持、公衆衛生の向上、高齢者の福祉の増進及び地域の保健医療体制の確立を図り、もって地域住民の医療及び福祉の増進に寄与する」ことを掲げています。

この目的達成のための事業として、周南市立新南陽市民病院及び周南市介護老人保健施設ゆめ風車の指定管理者として周南市から指定を受け、市との緊密な連携のもと当該施設の管理運営を行うと共に、併設する訪問看護ステーション、指定居宅介護支援事業所を一体的に展開しています。サ

サービス提供においては地域住民のニーズを的確に把握し、安心、安全で質の高い医療サービスと介護サービスを効果的、持続的に提供することで、市民の皆様をはじめ、医療従事者からも信頼される医療公社を目指しています。令和3事業年度は次の各事業の計画に基づいて取組を進めます。

## 1 病院事業

新南陽市民病院は、開院20周年の節目を経過しましたが、令和2年度より経営改善の核となる取組としてDPC対象病院に移行し、医療の標準化と効率化を図っています。

コロナ禍による全国的な患者数の抑制傾向の中、入院患者一人当たりの平均単価の上昇、材料費の低減等、期待される効果も徐々に生じている状況にありますが、職員の高齢化、施設の老朽化に伴い人件費や設備費用の増加も見込まれます。

現在のコロナ禍に対応し、今後の人口減少や透析患者増加等に対応できる病院となるために、施設の充実整備を提案していくなどをして、以下の事業に取組みます。

- ① 新型コロナウイルス感染症への対策事業として、地域外来検査センターの運営、中等症までの患者を受け入れる入院病棟の運営、ワクチン接種体制確保への協力等への注力
- ② 新型コロナウイルス感染症収束後の地域包括ケア病棟の患者確保と管理強化
- ③ DPC移行に伴う業務の能率化・効率化の推進及びそのために必要な体制・機器等の整備と急性期から回復期まで総合的に対応するための医療提供の強化と効率
- ④ 2次及び3次救急病院間の医療連携のさらなる強化による患者数の確保
- ⑤ 地域包括ケアシステム推進のため、地域連携室の体制強化による病院と病院、病院と診療所との連携の充実
- ⑥ 健康診断及び透析患者受入体制の強化
- ⑦ 中山間地域（中須診療所、国民健康保険鹿野診療所）の医療体制確保と共に、高齢化に伴う交通弱者等に対する将来に向けた交通手段や遠隔診療等の研究・検討の開始
- ⑧ 医学及び医療の向上に関する調査研究（治験等）及び各種研修生及び職場体験学習生徒受入等による人材育成
- ⑨ 市民健康講座等の地域住民への啓発活動
- ⑩ 石油コンビナート及び重化学工業等の立地に伴う、事故・災害対応に係る緊急機能を担う医療の提供
- ⑪ 2次救急に係る病院群輪番制病院としての医療の提供

## 2 介護老人保健施設事業

高齢者の福祉の増進のため、介護保険事業サービスが安定的、持続的に提供できるよう経営の健全化に努めるとともに、隣接する市民病院及び訪問看護ステーションや指定居宅介護支援事業所等との連携を強化します。また、利用者の安全確保のため新型コロナウイルス感染症防除対策に注力します。

一方「周南市介護老人保健施設事業経営戦略」により、収益増加に向け2床の増床による利用者の増加、在宅強化型への移行による加算取得により収益の増加を目指します。

高齢者の自立支援と尊厳の維持及び家族の介護負担を軽減する役割を担いながら、次の事業に取り組みます。

- ① 利用者に選ばれる施設となることによる入所率の高位安定
- ② ケアプランの充実及び各職種のチームワークによるトータルケアの充実
- ③ 通所リハビリテーションの充実と利用率の高位安定
- ④ 利用者・家族との信頼関係の維持・構築
- ⑤ 2次救急病院である新南陽市民病院との連携による利用者への安心・安全体制の提供
- ⑥ 学習療法を促進することで脳機能の活性化による認知症の維持改善を図る
- ⑦ 居宅介護支援事業所ゆめ風車との連携による利用者の確保
- ⑧ 各種研修生及び職場体験学習生徒受入等の人材育成

## 3 訪問看護ステーション事業

病院退院者及び介護老人保健施設退所者の在宅看護を中心に、市や地域の保健・医療・福祉サービスとの緊密な連携の下に、生活の質を重視した在宅医療ができるよう支援を行います。また、市街地から離れた山間部等への対応についても新南陽市民病院と連携し、安心・充実したサービスの提供を行います。

## 4 居宅介護支援事業

要介護状態等の利用者が、可能な限り、その居宅において自分の能力に応じて自立した日常生活を営むことができるように、適切な保健医療サービス及び福祉サービスが総合的、効率的に利用できるよう支援を行います。また、利用者が適切なサービスの選択ができるよう他の事業者との連携を強化し、相談体制の充実を図ります。

## 5 その他

各種講座への医師等の派遣、在宅酸素療法患者の集まりである「周南HOTの会」への支援。「糖尿病教室」等の啓発活動を行います。また周南市と連携し、糖尿病性腎症重症化予防活動に積極的に取り組んでいます。さらに市民公開健康講座の開催や糖尿病週間には当院独自の行事として、血液検査等を実施や専門職員による個別相談、講演会等を開催し、市民の皆様の“医療と健康”への意識を啓発してまいります。

令和3事業年度 収支予算書総括表

I 収入の部

(単位：千円)

区 分	合 計	一般会計 (病院事業) 予算額	介護老人保健 施設事業会計 予算額	訪問看護ステーション 事業会計 予算額	居宅介護支援 事業会計 予算額
1 基本財産運用収入	30	30			
2 療養費収入	30,030			30,030	
3 利用料収入	2,520			2,520	
4 補助金等収入	3,197,625	2,899,691	297,934		
5 介護報酬収入	23,329				23,329
6 受託事業収入	702				702
7 雑収入	17,757	16,701	1,039	16	1
8 繰入金収入	6,089			3,980	2,109
9 敷金保証金戻り収入					
収 入 合 計	3,278,082	2,916,422	298,973	36,546	26,141

II 支出の部

(単位：千円)

区 分	合 計	一般会計 (病院事業) 予算額	介護老人保健 施設事業会計 予算額	訪問看護ステーション 事業会計 予算額	居宅介護支援 事業会計 予算額
1 病院事業費	2,908,152	2,908,152			
2 介護老人保健施設事業費	298,473		298,473		
3 訪問看護ステーション事業費	36,546			36,546	
4 居宅介護支援事業費	26,141				26,141
5 講演会等開催事業費					
6 介護予防事業費					
7 管理費	341	341			
8 敷金・保証金支出	840	840			
9 固定資産取得支出					
10 繰出金支出	6,089	6,089			
11 予備費	1,500	1,000	500		
支 出 合 計	3,278,082	2,916,422	298,973	36,546	26,141

令和3事業年度 一般会計収支予算書

収 入

(単位：千円)

勘 定 科 目		予 算 額			備 考
大科目	中科目	R3当初予算	対前年比	R2当初予算	
基本財産運用収入		30		30	
	基本財産利息収入	30		30	
補助金等収入		2,899,691	△ 27,309	2,927,000	
	管理運営交付金	1,575,731	9,802	1,565,929	
	病院診療交付金	1,323,960	△ 37,111	1,361,071	
雑収入		16,701		16,701	
	受取利息	1		1	
	その他事業収入	13,500		13,500	
	雑収入	3,200		3,200	
収 入 合 計		2,916,422	△ 27,309	2,943,731	



## 支 出

(単位：千円)

勘 定 科 目		予 算 額			備 考
大科目	中科目	R3当初予算	対前年比	R2当初予算	
病院事業費		2,908,152	△ 25,288	2,933,440	
	給料手当	1,175,894	6,688	1,169,206	一般職員185人（育休等を含む。）
	臨時雇賃金	147,429	△ 4,533	151,962	臨時職員34人、非常勤医師賃金
	退職給付費用	45,000	5,000	40,000	
	福利厚生費	207,408	2,647	204,761	
	旅費交通費	454		454	赴任旅費
	通信運搬費	5,020		5,020	
	消耗什器備品費	2,700	718	1,982	
	消耗品費	18,400		18,400	
	印刷製本費	2,050		2,050	
	図書費	4,200	△ 783	4,983	
	被服費	421		421	
	燃料費	80		80	
	光熱水費	85,000	△ 5,000	90,000	
	修繕費	40,000		40,000	
	賃借料	55,961		55,961	
	保険料	3,119		3,119	
	負担金支出	3,500		3,500	
	材料費	603,000	△ 37,000	640,000	
	薬品費	420,000	△ 37,000	457,000	
	衛生材料費	4,000		4,000	
	医療消耗品費	137,000		137,000	
	給食材料費	42,000		42,000	
	研究研修費	7,468		7,468	
	委託費	495,000	6,975	488,025	
	租税公課	2,000		2,000	
	雑 費	4,048		4,048	
管理費		341		341	
	役員報酬	300		300	
	旅費交通費	7		7	
	通信運搬費	10		10	
	消耗品費	10		10	
	雑 費	14		14	
敷金保証金支出		840		840	
	敷金支出	840		840	
繰出金支出		6,089	△ 2,021	8,110	
	繰出金支出	6,089	△ 2,021	8,110	
予備費		1,000		1,000	
	予備費	1,000		1,000	
支 出 合 計		2,916,422	△ 27,309	2,943,731	



令和3事業年度 介護老人保健施設事業特別会計収支予算書

収 入

(単位：千円)

勘 定 科 目		予 算 額			備 考
大科目	中科目	R3当初予算	対前年比	R2当初予算	
補助金等収入		297,934	△ 15,606	313,540	
	管理運営交付金	196,621	△ 15,588	212,209	
	介護交付金	101,313	△ 18	101,331	
雑収入		1,039		1,039	
	受取利息	2		2	
	自動販売機手数料	263		263	
	雑収入	774		774	実習受入等
収 入 合 計		298,973	△ 15,606	314,579	

支 出

(単位：千円)

勘 定 科 目		予 算 額			備 考
大科目	中科目	R3当初予算	対前年比	R2当初予算	
介護老人保健事業費		298,473	△ 15,606	314,079	
	給料手当	152,959	△ 818	153,777	一般職員29人
	臨時雇賃金	12,265	△ 12,861	25,126	臨時職員7人
	退職給付費用	4,000		4,000	
	福利厚生費	27,397	△ 1,909	29,306	
	通信運搬費	1,131	2	1,129	
	消耗什器備品費	300		300	
	消耗品費	1,833		1,833	
	印刷製本費	100		100	
	図書費	100		100	
	被服費	326		326	
	燃料費	1,210		1,210	
	光熱水費	15,478	△ 1,469	16,947	
	修繕費	5,639	2,096	3,543	
	賃借料	5,713	998	4,715	
	保険料	663		663	
	負担金支出	210	6	204	
	材料費	34,852	△ 1,553	36,405	
	薬品費	7,507	△ 657	8,164	
	衛生材料費	528		528	
	医療消耗品費	2,904	△ 896	3,800	
	給食材料費	23,913		23,913	
	研究研修費	391	△ 13	404	
	委託費	33,522	△ 85	33,607	
	雑 費	384		384	
予備費		500		500	
	予備費	500		500	
支 出 合 計		298,973	△ 15,606	314,579	

令和3事業年度 訪問看護ステーション事業特別会計収支予算書

収 入

(単位：千円)

勘 定 科 目		予 算 額			備 考
大科目	中科目	R3当初予算	対前年比	R2当初予算	
療養費収入		30,030		30,030	
	療養費収入	30,030		30,030	7,150円×350回×12月
利用料収入		2,520		2,520	
	利用料収入	2,520		2,520	600円×350回×12月
雑収入		16		16	
	受取利息	1		1	
	雑収入	15		15	実習受入
繰入金収入		3,980	△ 2,721	6,701	
	繰入金収入	3,980	△ 2,721	6,701	
収 入 合 計		36,546	△ 2,721	39,267	

支 出

(単位：千円)

勘 定 科 目		予 算 額			備 考
大科目	中科目	R3当初予算	対前年比	R2当初予算	
訪問看護ステーション事業費		36,546	△ 2,721	39,267	
	給料手当	25,510	△ 514	26,024	一般職員4人
	臨時雇賃金	3,402	△ 2,458	5,860	臨時職員3人
	福利厚生費	4,485	30	4,455	
	通信運搬費	300	21	279	
	消耗什器備品費	100	50	50	
	消耗品費	60		60	
	印刷製本費	120		120	
	図書費	63		63	
	被服費	55		55	
	燃料費	400		400	
	修繕費	300	150	150	
	賃借料	750		750	
	保険料	223		223	
	負担金支出	133		133	
	研究研修費	150		150	
	委託費	230		230	
	租税公課	52		52	
	雑 費	213		213	
支 出 合 計		36,546	△ 2,721	39,267	

令和3事業年度 居宅介護支援事業特別会計収支予算書

収 入

(単位：千円)

勘 定 科 目		予 算 額			備 考
大科目	中科目	R3当初予算	対前年比	R2当初予算	
介護報酬収入		23,329	3,631	19,698	
	介護報酬	23,329	3,631	19,698	1587件×11,700円(通常報酬) 1587件×3,000円(事業所加算)
受託事業収入		702	513	189	
	受託金	702	513	189	3,900円×15件×12月
雑収入		1		1	
	受取利息	1		1	
繰入金収入		2,109	700	1,409	
	繰入金収入	2,109	700	1,409	
収 入 合 計		26,141	4,844	21,297	

支 出

(単位：千円)

勘 定 科 目		予 算 額			備 考
大科目	中科目	R3当初予算	対前年比	R2当初予算	
居宅介護支援事業費		26,141	4,844	21,297	
	給料手当	15,260	5,187	10,073	一般職員3人
	臨時雇賃金	4,828	△ 2,033	6,861	臨時職員2人
	福利厚生費	3,215	774	2,441	
	通信運搬費	400	100	300	
	消耗什器備品費	79	16	63	
	消耗品費	50		50	
	印刷製本費	50		50	
	図書費	60		60	
	被服費	20		20	
	燃料費	200	100	100	
	修繕費	200	100	100	
	賃借料	1,150	600	550	
	保険料	80		80	
	負担金支出	85		85	
	研究研修費	85		85	
	委託費	226		226	
	租税公課	40		40	
	雑 費	113		113	
支 出 合 計		26,141	4,844	21,297	